

農地法第5条届出・記入例

農地法第5条第1項第6号の規定による農地転用届出書（正）

令和●●年 ●●月 ●●日

法人の場合は※①参照

岸和田市農業委員会会長 様

捨印は※④参照

譲受人
(被設定人)

氏名 岸城 太郎

ほか
届出当事者全員の
詳細は下記のとおり

譲渡人
(設定人)

氏名 岸城 花子

ほか
届出当事者全員の
詳細は下記のとおり

下記によって転用のため農地（採草放牧地）の権利を設定、移転したいので、農地法第5条第1項第6号の規定により届け出ます。

1 届出当事者者の氏名、住所及び職業

当事者の別	氏 名	印	住 所	職 業	備考
☐ 譲受人 ☐ 賃借人 ☐ 使用借人	岸城 太郎	認印	岸和田市●町●番●号	☐ 農業 ☐ 無職 ☐ 会社員 ☐ ()	
☐ 譲渡人 ☐ 賃貸人 ☐ 使用貸人	岸和田 花子	認印	岸和田市▲町▲番地の▲ 登記住所と現住所が違う場合 ※②参照	☐ 農業 ☐ 無職 ☐ 会社員 ☐ ()	
※登記名義人が複数名の場合、所有者全員の記載事項をご記入ください					

2 土地の所在、地番、地目及び面積並びに土地所有者及び耕作者の氏名、住所

土地の所在	地番	地 目		面積 ㎡	土 地 所 有 者		耕 作 者	
		登記	現況		氏 名	住 所	氏 名	住 所
岸和田市 ●●町●丁目	10	田		300	岸和田 花子	岸和田市 ▲町▲番地の▲	☐ 同 ☐ —	左 人
岸和田市 ▲▲町▲丁目	20	畑		200	同上	同上	☐ 同 ☐ —	左 人
☐ 田 ☐ 宅地 ☐ 畑 ☐ 雑種地 ☐ 休耕地 ☐ ()		☐ 田 ☐ 宅地 ☐ 畑 ☐ 雑種地 ☐ 休耕地 ☐ ()						
合計	2 筆	500 ㎡ (田 300 ㎡、畑 200 ㎡、採草放牧地			㎡)			

		権利の種類	権利の設定、移転の別	権利の設定、移転の時期	権利の存続期間	その他
3 権利を設定、移転しようとする契約の内容		☐ 所有権 ☐ 賃貸借権 ☐ 使用貸借権	☐ 移転 ☐ 設定	☐ 受理後すぐ ☐ ()	☐ 永久 ☐ ()	☐ 売買 ☐ 贈与 ☐ 交換 ☐ ()
4 転用計画	転用の目的	☐ 居宅 ☐ 店舗 ☐ 倉庫 ☐ 露天駐車場 ☐ 露天資材置場 ☐ 道路用地 ☐ ガレージ ☐ ()	工事着工時期 工事完了時期	令和●●年●●月●●日 転用済は※③参照 令和●●年●●月●●日 転用済は※③参照	開発許可を要しない転用行為にあっては都市計画法第29条の該当号	
	転用の目的に係る事業又は施設の概要	☐ 木造 瓦葺 ●階建 ●棟 建築面積●●●㎡ ☐ 普通自動車 ●台分、事業用車両 ●台分 ☐ 建築用資材 ●㎡ ☐ 開発道路 ☐ 進入路 ☐ ()				
5 転用することによって生ずる付近の農地、作物、家畜等の被害の防除施設の概要						
☐ 付近の農地等に被害のないように十分注意して工事をいたしますが、万一苦情が発生したときは、当方で一切責任を持って解決いたします。 ☐ すでに転用済です。						
受理通知書は届出当事者全員の合意により (岸城 太郎 TEL ●●●●-●●●●-●●●●) が受領します。						

※① 届出者が法人の場合

- ・届出者が法人の場合は必ず会社名と代表者の氏名を記入してください。
記入例→ 株式会社●● 代表取締役●●

※② 登記住所と現住所が違う場合

- ・住民票等の住所の沿革の分かる書面が必要です。

※③ 届出時にすでに転用済の場合

- ・工事着工時期と工事完了時期のいずれかに、現在の転用状況になった年月日を記入してください。
 - ・記入する年月日は、「始末書」の<転用の時期>と同日となります。
 - ・年月日で不明がありましたら、後ろに「不詳」を記入してください。
- 記入例→ **昭和 55 年月日不詳**

※④ 捨印について

- ・必ず捺印するものではありません。届出者の了承を得た場合のみ捺印してください。
- ・捺印する場合、届出者全員分の申請印と同一の印鑑を捺印してください。